

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 筑波大学附属駒場高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒154-0001
東京都世田谷区池尻4-7-1

E-mail : _____

Website : http://www.komaba-s.tsukuba.ac.jp/home/

児童生徒数：男子 490 名 女子 0 名 合計 490 名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

筑波大学附属学校全体として、三拠点構想というものを掲げている。

「先導的教育拠点」「教師教育拠点」「国際教育拠点」の三点であるが、特にユネスコスクールのコンセプトに沿うものとして、国際教育拠点としての取り組みを重視している。

国際交流事業としては、必ずしもユネスコスクールという枠にとらわれず、本校独自に台湾と韓国の学校交流しており、来年度以降も継続する予定である。

また、国際科学オリンピックなどの参加者も増えている。

通常の授業では、国際理解については地理Aや世界史Aの授業の中で実践を行っている。

地域の連携などを通じてのネットワークの構築として、世田谷区教育委員会との共催、目黒区教育委員会からの後援を受け、筑駒アカデミアという社会貢献プロジェクトを実施している。3つの講演会と約10の公開講座を開催し、小学生から社会人まで、幅広い方々を対象に実施している。

このほか、本校の伝統として高校1年生は「総合的な学習」において、水田実習を行っており、毎年改善を重ね食文化に対する理解を深めている。

また、高校2年生は「ゼミナール」の選択授業において、障がい者への理解や環境問題（水俣）への理解を深めている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）